

# 夜・梅・祭 2017



(表紙写真提供：いばらきキャンドルナイト)  
※写真は昨年の様子

春に先駆けて咲く梅は、愛らしい姿とほのかな香り、そして凜とした美しさを感じることができる花として愛されています。

水戸市にある偕楽園で毎年開催される「水戸の梅まつり」は、多くの観光客が訪れる県内有数のイベントとして知られています。

一般的に梅を見るのは昼間ですが、偕楽園では“夜の梅”も楽しんでもらうため、「水戸の梅まつり」開催から110周年を記念して、平成18年から「夜・梅・祭」を開催しています。

夜の梅を楽しむイベントは全国的にも珍しく、ライトアップされた梅を楽しめるほか、今年も「いばらきキャンドルナイト」が演出する約6,000個のキャンドルや光のオブジェが設置され、夜の偕楽園を幻想的に彩ります。

フィナーレには、日本一の花火師として讃えられる水戸の老舗企業「野村花火工業」による花火が打ち上げられ、会場の夜空は美しい光の花で彩られます。

昨年から、弘道館と偕楽園・常磐神社の2つの会場で開催されており、今年は3月4日(土)が弘道館、3月11日(土)が偕楽園・常磐神社で開催される予定です。

梅は夜から朝にかけて強い香りを発するといわれており、昼間では感じられない梅の魅力に気づくことができるかもしれません。

この冬、ご家族・ご友人とともに、澄んだ空気の中で夜の梅を愛でてみてはいかがでしょうか。



◆場 所：茨城県水戸市常磐町1-3-3

アクセス：

【車】 常磐自動車道「水戸IC」より約20分

【電車】 JR常磐線「水戸駅」より水戸駅北口

偕楽園行きバスで約20分

※梅まつり期間中(2月18日～ 3月31日)

は、JR偕楽園臨時駅に停車する電車もあります。詳しくはJR東日本水戸支社にお

問合せください。

筑波総研株式会社 研究員 富山かなえ